

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月14日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
【会社名】	株式会社ニッコウトラベル
【英訳名】	Nikko Travel Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 哲也
【本店の所在の場所】	東京都中央区京橋一丁目1番1号
【電話番号】	03（3276）0111
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括担当 片桐 博子
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区京橋一丁目1番1号
【電話番号】	03（3276）0111
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括担当 片桐 博子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期 連結累計期間	第41期 第2四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
営業収益 (千円)	2,023,106	1,853,686	4,328,061
経常利益又は経常損失 () (千円)	272,123	90,541	300,902
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 () (千円)	168,221	161,509	209,159
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	106,144	194,131	7,487
純資産額 (千円)	3,777,127	3,359,726	3,663,494
総資産額 (千円)	5,565,310	5,043,609	5,015,543
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	17.73	17.13	22.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	66.91	65.24	72.55
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	300,667	205,259	86,940
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	196,982	69,283	101,423
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	137,441	107,885	137,630
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,458,442	2,305,228	2,318,252

回次	第40期 第2四半期 連結会計期間	第41期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	6.58	0.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループは、当社及び子会社２社により構成されており、一般顧客を対象とした海外旅行事業及び関連事業を営んでおります。

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第2四半期連結累計期間の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は、下記のとおりであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済は堅調に推移した一方、世界経済を牽引してきた中国及び新興国の景気停滞や英国の欧州EU離脱問題などを背景に、世界的に景気下振れリスクが高まるなど、不透明な状況が継続しました。

日本経済は、日銀によるマイナス金利等の景気刺激策は継続するものの、円高・株安進行に伴う企業収益の圧迫や個人消費の伸び悩み等により、全体的に停滞基調が続いております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、当社の繁忙期（ ）である第1四半期に欧州におけるテロ事件等の情勢不安の影響を受けたため、営業収益・営業利益ともに前第2四半期連結累計期間を下回っております。なお、当第2四半期連結会計期間につきましては、世界情勢が落ち着いてきた要因もあり、営業収益が前年同期比3.1%増と若干ではございますが、回復傾向となってきております。

当第2四半期連結累計期間は、円高による海外資産の減損処理（約1億69百万円）の影響もあり、結果として、営業利益67百万円（前年同期 営業利益 1億20百万円 / 前年同期比 44.4%減）、経常損失90百万円（前年同期 経常利益 2億72百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億61百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益 1億68百万円）となりました。

当社といたしましては、引き続き基本方針であるお客様の立場に配慮した「ゆとりある豊かな旅」「高い安心感と満足感」の提供を実践し、他社と差別化されたサービスの一層の向上を目指した商品提供を進めてまいります。

当社のお客様は、年間で見ただけの場合に欧州方面の旅行需要が主流を占めております。特に欧州方面のベストシーズンである春季から初夏及び紅葉の秋季に需要が集中するため、第1四半期及び第3四半期の顧客数が他の四半期と比べて高くなっております。

当第2四半期連結累計期間の販売実績・顧客動向等は下記のとおりであります。

なお、当社グループの事業は旅行業という単一セグメントに属するため、セグメントに係る記載に代えて商品別の概況等を記載しております。

販売実績

A. 商品別営業収益

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
旅行売上(千円)	1,879,375	1,646,193
その他売上(千円)	143,730	207,493
合計(千円)	2,023,106	1,853,686

(注) その他売上は保険手数料、渡航申請手数料及び海外の旅行会社に対するクルーズ船貸出等の収入であります。

B．種別旅行営業収益

区分	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
募集型企画旅行 (千円)	1,842,793	1,625,713
受注型企画旅行・手配旅行 (千円)	36,582	20,479
合計 (千円)	1,879,375	1,646,193

C．渡航先別顧客数

行先	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
ヨーロッパ (人)	1,853	1,436
ロシア (人)	41	147
中東 (人)	-	-
北米 (人)	115	111
中南米 (人)	14	14
オセアニア (人)	-	-
アジア (人)	32	124
アフリカ (人)	-	16
南極 (人)	-	-
その他 (人)	163	242
合計 (人)	2,218	2,090

(注) 当社グループの顧客層は、年間で見た場合に欧州方面の旅行需要が主流を占めております。
特に欧州方面のベストシーズンである春季から初夏及び紅葉の秋季に需要が集中するため、第 1 四半期及び第 3 四半期の顧客数が他の四半期と比べて高くなっております。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、28億71百万円(前連結会計年度末は27億16百万円)となり、1億54百万円の増加となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

営業債権 (営業未収入金・旅行前払金) が1億23百万円増加したこと
現金及び預金が23百万円増加したこと

(固定資産)

当第 2 四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、21億72百万円(前連結会計年度末は22億98百万円)となり、1億26百万円の減少となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

有価証券の取得等により、投資有価証券が80百万円増加したこと
存外子会社の保有する船舶が為替の変動等により1億80百万円減少したこと

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14億76百万円(前連結会計年度末は11億14百万円)となり、3億61百万円の増加となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

季節変動により、営業債務(営業未払金・旅行前受金)が3億17百万円増加したこと

未払法人税等が21百万円減少したこと

その他の流動負債が61百万円増加したこと

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2億7百万円(前連結会計年度末は2億37百万円)となり、29百万円の減少となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

役員退職慰労引当金が63百万円減少したこと

その他固定負債が30百万円増加したこと

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、33億59百万円(前連結会計年度末は36億63百万円)となり、3億3百万円の減少となりました。

主な増減要因としては下記の内容が挙げられます。

親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当により利益剰余金が2億71百万円減少したこと

繰延ヘッジ損益が88百万円減少したこと

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、23億5百万円(前連結会計年度末は23億18百万円)となり、前連結会計年度末と比べ13百万円の資金の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億5百万円(前年同四半期は3億円)の資金の増加となりました。

主な増減要因としては、下記の内容が挙げられます。

税金等調整前四半期純損失86百万円の計上による資金の減少

非資金的费用である為替差損1億56百万円の計上

営業債権・債務残高の変動に伴い資金が2億2百万円の増加

法人税等の支払いにより資金が39百万円減少

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、69百万円(前年同四半期は1億96百万円)の資金の減少となりました。

主な増減要因としては、投資有価証券の取得により資金が72百万円減少したことが挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億7百万円(前年同四半期は1億37百万円)の資金の減少となりました。

この減少は、配当金の支払いによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,600,000
計	15,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,780,000	9,780,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	9,780,000	9,780,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	-	9,780,000	-	932,550	-	911,300

(6) 【大株主の状況】

平成28年 9 月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合 (%)
久野木 和宏	神奈川県横浜市栄区	3,542	36.23
久野木 博子	神奈川県横浜市栄区	543	5.55
株式会社ニッコウトラベル	東京都中央区京橋1-1-1 八重洲ダイビル2 階	348	3.57
ニッコウトラベル社員持株会	東京都中央区京橋1-1-1 八重洲ダイビル2 階	167	1.71
久野木 直人	東京都板橋区	122	1.26
久野木 麻子	神奈川県横浜市栄区	122	1.26
久野木 義人	神奈川県横浜市栄区	122	1.26
久野木 康二	滋賀県大津市	116	1.19
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命証 券管理部内	86	0.88
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	72	0.74
計	-	5,245	53.64

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年 9 月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式 (自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式 (その他)	-	-	-
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 348,800	-	-
完全議決権株式 (その他)	普通株式 9,429,600	94,296	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	9,780,000	-	-
総株主の議決権	-	94,296	-

(注) 「完全議決権株式 (その他) 」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数 2 個が含まれております。

【自己株式等】

平成28年 9 月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合（％）
株式会社ニッコウトラベル	東京都中央区京橋 一丁目 1 番 1 号	348,800	-	348,800	3.57
計	-	348,800	-	348,800	3.57

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,335,214	2,359,178
営業未収入金	3,323	1,826
貯蔵品	5,037	5,747
旅行前払金	234,465	359,007
その他	138,886	145,825
貸倒引当金	60	60
流動資産合計	2,716,867	2,871,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	170,889	170,889
減価償却累計額	128,912	130,655
建物及び構築物(純額)	41,977	40,233
船舶	1,481,172	1,315,241
減価償却累計額	134,638	149,444
船舶(純額)	1,346,533	1,165,797
土地	37,780	37,780
その他	134,068	132,170
減価償却累計額	93,735	98,052
その他(純額)	40,333	34,118
有形固定資産合計	1,466,623	1,277,929
無形固定資産	56,385	49,923
投資その他の資産		
投資有価証券	484,760	565,600
長期貸付金	34,009	34,009
その他	485,653	473,376
貸倒引当金	228,756	228,756
投資その他の資産合計	775,667	844,230
固定資産合計	2,298,676	2,172,083
資産合計	5,015,543	5,043,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	208,342	181,704
未払法人税等	51,580	29,636
旅行前受金	724,851	1,069,209
賞与引当金	23,196	31,476
株主優待引当金	12,215	8,427
その他	94,709	156,140
流動負債合計	1,114,895	1,476,596
固定負債		
退職給付に係る負債	113,625	117,395
役員退職慰労引当金	79,783	15,823
資産除去債務	10,740	10,853
その他	33,005	63,214
固定負債合計	237,153	207,286
負債合計	1,352,049	1,683,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	932,550	932,550
資本剰余金	911,300	911,300
利益剰余金	2,072,356	1,801,210
自己株式	116,384	116,384
株主資本合計	3,799,821	3,528,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,746	97,031
繰延ヘッジ損益	48,989	137,426
退職給付に係る調整累計額	5,388	3,938
その他の包括利益累計額合計	161,124	238,396
非支配株主持分	24,797	69,447
純資産合計	3,663,494	3,359,726
負債純資産合計	5,015,543	5,043,609

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
営業収益	2 2,023,106	2 1,853,686
営業原価	1,497,642	1,397,757
営業総利益	525,464	455,928
販売費及び一般管理費	1 404,907	1 388,918
営業利益	120,556	67,010
営業外収益		
受取利息	7,235	3,438
受取配当金	6,474	8,140
投資有価証券売却益	87,996	-
為替差益	51,067	-
その他	289	404
営業外収益合計	153,064	11,982
営業外費用		
為替差損	-	169,528
自己株式取得費用	1,493	-
その他	2	6
営業外費用合計	1,496	169,534
経常利益又は経常損失 ()	272,123	90,541
特別利益		
投資有価証券清算分配金	8,872	4,095
特別利益合計	8,872	4,095
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	280,996	86,446
法人税、住民税及び事業税	55,554	21,711
法人税等調整額	3,833	2,058
法人税等合計	59,387	19,652
四半期純利益又は四半期純損失 ()	221,608	106,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	53,387	55,410
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 ()	168,221	161,509

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	221,608	106,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,367	9,714
繰延ヘッジ損益	11,600	88,436
為替換算調整勘定	4,201	10,760
退職給付に係る調整額	2,504	1,450
その他の包括利益合計	115,463	88,032
四半期包括利益	106,144	194,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,958	238,781
非支配株主に係る四半期包括利益	49,186	44,649

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ()	280,996	86,446
減価償却費	45,026	44,578
退職給付に係る負債の増減額 (は減少)	1,764	3,770
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	17,692	63,959
賞与引当金の増減額 (は減少)	7,642	8,280
受取利息及び受取配当金	13,710	11,578
為替差損益 (は益)	52,899	156,131
投資有価証券清算分配金	8,872	4,095
投資有価証券売却損益 (は益)	87,996	-
営業未収入金の増減額 (は増加)	1,808	1,488
旅行前払金の増減額 (は増加)	209,019	124,541
未収消費税等の増減額 (は増加)	6,480	19,034
たな卸資産の増減額 (は増加)	615	939
その他の流動資産の増減額 (は増加)	30,390	12,532
その他の投資その他の資産の増減額 (は増加)	424	1,316
営業未払金の増減額 (は減少)	68,944	24,263
旅行前受金の増減額 (は減少)	381,981	349,767
その他の流動負債の増減額 (は減少)	2,529	20,304
その他の固定負債の増減額 (は減少)	110	112
その他	3,481	2,283
小計	363,504	233,534
利息及び配当金の受取額	13,703	11,554
法人税等の支払額	76,540	39,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,667	205,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,267	2,253
投資有価証券の取得による支出	363,443	72,025
投資有価証券の売却による収入	167,686	-
投資有価証券の清算分配による収入	8,872	4,095
無形固定資産の取得による支出	6,861	-
敷金及び保証金の回収による収入	530	-
敷金及び保証金の差入による支出	500	-
その他の収入	-	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	196,982	69,283

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	94,750	107,885
自己株式の取得による支出	42,691	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,441	107,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,672	41,114
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	22,083	13,024
現金及び現金同等物の期首残高	2,480,525	2,318,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,458,442	1 2,305,228

【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日) を第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日) を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
給与・賞与	132,795千円	128,637千円
地代・家賃	60,241	60,313
支払手数料	52,667	41,032
減価償却費	2,600	3,116
賞与引当金繰入額	23,391	23,440
退職給付費用	5,605	4,944
役員退職慰労引当金繰入額	1,686	2,086

2. 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日) 及び当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

当社グループの当第 2 四半期連結累計期間における顧客層は、例年同様に、欧州方面の旅行需要が主流を占めております。特に海外渡航先のベストシーズンである春季から初夏及び紅葉の秋季に需要が集中するため、通常、第 1 四半期連結会計期間及び第 3 四半期連結会計期間の売上が他の四半期と比べて高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額とその関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
現金及び預金勘定	2,512,385千円	2,359,178千円
預け金 (流動資産その他)	-	3
預入期間が 3 ヶ月を超える定期預金	53,943	53,953
現金及び現金同等物	2,458,442	2,305,228

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	95,511	10	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	108,458	11.50	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、旅行業という単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四 半期純損失金額()	17円73銭	17円13銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社 株主に帰属する四半期純損失()(千円)	168,221	161,509
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四 半期純損失()(千円)	168,221	161,509
普通株式の期中平均株式数(株)	9,488,314	9,431,197

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年11月10日

株式会社ニッコウトラベル

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 向 眞生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅井 則彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニッコウトラベルの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニッコウトラベル及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。